

令和6年度宮崎県高等学校新人総合体育大会 第20回少林寺拳法競技大会

兼 全国高等学校少林寺拳法選抜大会宮崎県予選会
九州高等学校少林寺拳法選抜大会宮崎県予選会

実 施 要 項



2024

主 催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会
後 援 公益財団法人宮崎県スポーツ協会
宮崎県少林寺拳法連盟・宮崎日日新聞社
主 管 宮崎県高等学校体育連盟少林寺拳法専門部
開催日 令和6年11月10日（日）
会 場 ひなた武道館 柔道場

所属（ ） 氏名（ ）

大会役員

<u>名誉会長</u>	宮崎県少林寺拳法連盟会長	矢野 文昭
<u>名誉副会長</u>	宮崎市長	清山 知憲
<u>会長</u>	宮崎県高等学校体育連盟会長	那須 雅博 (宮崎南高校校長)
<u>副会長</u>	宮崎県高等学校体育連盟副会長 々 々 々 々	中村 恵子 (延岡商業高校校長) 香川 健二 (都城工業高校校長) 岩切 正義 (小林秀峰高校校長) 田村 宣行 (日向学院高校校長) 渡辺 和徳 (宮崎南高校教頭)
	宮崎県高体連少林寺拳法専門部長	渡辺 和徳 (宮崎南高校教頭)
<u>顧問</u>	宮崎県教育庁スポーツ振興課長 宮崎県立宮崎北高等学校校長 開催地区 (宮崎・東諸) 支部長	田中 裕久 鬼束 雅史 中別府 勇治
<u>参与</u>	宮崎県少林寺拳法連盟理事長 参加加盟校校長	小玉 将臣
<u>委員長</u>	宮崎県高等学校体育連盟理事長	黒木 章宏
<u>副委員長</u>	少林寺拳法競技専門委員長 開催地区 (宮崎・東諸) 理事長	高橋 基治 寺澤 嘉晃
<u>委員</u>	有水浩智・佐久間英二・工藤英世・池田美華子 福山隆司・津曲伸輔・甲斐貴満・萱嶋竹夫・毛上卓也・湯地龍男 鳴海秀幸・立山慎・田上幸生	

競技役員

総務委員長 高橋 基治 (専門委員長)

審判長 船ヶ山 日出光 (宮崎県少林寺拳法連盟)

審判員 宮崎県少林寺拳法連盟派遣審判員

運営委員長 甲斐 貴満

運営補助員 都城工業高校選手

競技委員長 福山 隆司

競技補助員 都城高校選手

設営委員長 萱嶋 竹夫

設営補助員 都城工業高校選手

記録委員長 毛上 卓也

記録補助員 延岡工業高校選手

総務委員・・・大会運営全般
運営委員・・・開閉会式進行・競技進行
競技委員・・・召集・点呼・誘導
設営委員・・・会場設営・コート作成
記録委員・・・採点集計・表彰

大会日程

1 入 場 8:10

2 引率者会議 8:30

3 審判会議 8:50

4 開 会 式 9:30～ 進行：甲斐

1	開会宣言	宮崎県高体連少林寺拳法専門部委員長	高橋 基治
2	専門部長挨拶	宮崎県高体連少林寺拳法専門部長	渡辺 和徳
3	来賓挨拶	宮崎県少林寺拳法連盟会長	矢野 文昭
4	優勝旗返還並びに選手宣誓	令和5年度総合優勝 都城高等学校	柿木 莉世
5	競技上の注意	審判長 船ヶ山 日出光	

5 競技開始 10:00～ 進行：甲斐

- ① 男女規定単独演武
- ② 男女自由単独演武
- ③ 男子規定組演武 ※③④は同時入退場
- ④ 男女自由組演武
- 休 憩
- ⑤ 男子団体演武

6 閉 会 式 13:00～ 進行：甲斐

1	成績発表	専門委員長	高橋基治
2	表彰並びに優勝旗授与		
3	講 評	県連理事長	小玉将臣
4	閉会宣言	専門委員長	高橋基治

7 記念撮影

撤収作業 14:00 終了

選手名簿

① 男女規定単独演武

NO	性別	種目	氏名	学校名	資格	学年	備考
1	男子	規定	小原 瑛士	都城工業	5級	1	
2	男子	規定	木田 尋斗	都城	6級	2	
3	男子	規定	横山 魁人	都城工業	5級	1	
4	男子	規定	黒木 響真	都城	5級	1	
1	女子	規定	堀田 千春	都城工業	5級	1	

② 男女自由単独演武

NO	性別	種目	氏名	学校名	資格	学年	備考
1	男子	自由	園田 詩祈	都城工業	初段	2	
2	男子	自由	早川 仁	都城	1級	1	
3	男子	自由	坂本 優雅	都城工業	初段	2	
1	女子	自由	岩元 有澄	都城	三段	2	

③ 男子規定組演武

NO	性別	種目	氏名	学校名	資格	学年	備考
1	男子	規定	吉田 有嵐	都城工業	5級	1	
			鶴迫 雄大		5級	1	

女子規定組演武

エントリーなし

④ 男女自由組演武

NO	性別	種目	氏名	学校名	資格	学年	備考
1	男子	自由	本溜 仁遥	都城	初段	1	
			塩屋 龍星		1級	2	
2	男子	自由	竹町 李偉	都城工業	初段	2	
			瀬尾 颯汰		初段	2	
1	女子	自由	柿木 莉世	都城	初段	2	
			森田 蒼彩		初段	2	
2	女子	自由	椎屋 恵那	都城工業	初段	2	
			野中 陽楨里		初段	2	
3	女子	自由	伊東 和華	延岡工業	1級	2	
			岩切 千怜		初段	2	

⑤ 男子 団体演武

NO	学校名	メンバー	資格	備考
1	都城工業	竹町 瀬尾 坂本 小原 横山 鶴迫 園田 吉田	初段	

⑥ 女子 団体演武

エントリーなし

資格取得

- (1) 団体演武を除く男女各種目の1位は、第28回全国高等学校少林寺拳法選抜大会の出場資格を取得する。ただし、第11回九州高等学校少林寺拳法選抜大会に出場しない場合は出場資格を失う。
- (2) 男女単独演武各種目の4位まで、男女組演武各種目4位まで、男女団体演武2位までは、第11回九州高等学校少林寺拳法選抜大会の出場資格を取得する。

全国高等学校少林寺拳法選抜大会規則（抜粋）

第11条 服装及び姿勢等

- (1) 大会目的に反する頭髪・服装・態度の者の出場は認めない。
- (2) 道衣・帯は、一般財団法人少林寺拳法連盟公認のものを着用すること。
- (3) 道衣・帯以外のものを身に付けたり、持ってはならない。(例. はちまき、胴など)
- (4) 男子は原則として道衣の下にTシャツを着用しない。
- (5) 女子が道衣の下にTシャツを着用する場合は、白色（ワンポイント可）のものとする。
- (7) 男女とも頭髪の加工は禁止する。前髪は目にかからないようにすること。尚、女子の髪留めについては、金属製・プラスチック製髪留め具やリボンなどの使用は禁止とし、黒又は紺色のゴム製髪留め具を使用して、後ろで束ねること。(全国大会では後ろ髪がゼッケンにかからないこと)
- (8) 競技中の眼鏡、ハードコンタクトレンズの使用は禁止とする。

第12条 演武の構成及び武階と使用できる技

- (1) 参加申し込み時の武階において、演武者の武階の最終科目内の技を使用することができる。団体演武については、演武者の最高武階の最終科目内の技を使用することができる。但し、補欠の資格は対象外とする。(特別措置等がある場合はそれに従う。)
- (2) 資格以上の技を行った場合は、一技につき総合点より10点減点する。但し、次の内容については、許容範囲として認める。
 - ①演武者が、「見習い・6級・5級・4級」の場合は、3級科目までの技が使用できる。
 - ②演武者が、「3級・2級・1級」の場合は、初段科目までの技が使用できる。※尚、減点対象の事象が発生した場合は、それぞれに応じた減点を行う。
- (3) 自由単独演武の部で、単独基本法形演武を行う場合は基本に準じ、攻技・防技に関して変化・省略などはしないこと。攻技・防技に関して変化・省略などを行った場合は、総合点より10点減点する。但し、規定単独演武の部及び団体演武の部1・6構成の単独演武(規定)において、攻技・防技に関して変化・省略などを行った場合は失格とする。また、単独基本法形演武を行う場合は一方向で一構成とする。
- (4) 演武の構成は6構成とする。6構成より過不足があるとみなされた場合は、総合点から10点減点する。
- (5) 規定組演武の部は、大会要項にて指示されている技をそれぞれの構成の最初に入れて順序どおり行うこと。交互に行う必要はない。尚、規定技の順序が違った場合は、失格とする。
- (6) 規定単独演武の部は、大会要項にて指示されている技をそれぞれの構成の最初に入れて順序どおり行うこと。尚、規定技の順序が違った場合は、失格とする。

第14条 演武時間

- (1) 組演武、団体演武においては、開始から終了まで、1分30秒以上2分以内とし、未満超過は10秒ごとに、総合点より5点減点する。尚、3分を超える場合は失格とする。
- (2) 単独演武においては、開始から終了まで、1分以上1分30秒以内とし、未満超過は10秒ごとに、**総合点**より5点減点する。尚、2分30秒を超える場合は失格とする。

第17条 判定

- (2) 順位は、**総合点**（最高300点）より減点分を引いた点の高い組より決める。

第18条 審判員数と算出方法

- (2) 主審および副審のおおの5名が技術度(60点)表現度(40点)を採点し、合計点の最高点、最低点を除いた審判員3人の合計を**総合点**とする。尚、最高点で同点が出た場合は、技術度の得点の低い方を残し、最低点が同点の場合、技術度の得点の高い方を残すものとする。

第22条 同点の取り扱い

- (1) 同点の場合は、以下の処理をする。
 - ①**総合点**の技術度の高い方を上位とする。
 - ②なおも同点の場合は、主審の合計点が高い方を上位とする。
 - ③なおも同点の場合は、主審の技術度の得点の高い方とする。※上記の場合、主審の採点が総合点に加算されているか否かは問わない。

総合成績得点表

	1 位	2 位	3 位
単 独 演 武	3 点	2 点	1 点
組 演 武	3 点	2 点	1 点
団 体 演 武	6 点	4 点	2 点

栄光の記録 【総合成績】

年度	回	優 勝 校	主将名	監 督 ・ 顧 問	備 考
H17	1	都城工業（初優勝）	益留康平	西川和弘	県高体連加盟
H18	2	都城泉ヶ丘（初優勝）	今吉幸希	小玉忠弘・中山和也	
H19	3	都城泉ヶ丘（2年連続2回目）	今吉幸希	小玉忠弘・松下俊一	
H20	4	都城泉ヶ丘（3年連続3回目）	盛満昭彦	小玉忠弘・松下俊一	
H21	5	都城工業（4年ぶり2回目）	長田祐貴	黒木 俊・有村耕二	
H22	6	都城工業（2年連続3回目）	森山 司	黒木 俊・有村耕二	
H23	7	男子 都城工業（3年連続4回目）	吉本 稜	鳴海秀幸・中西典明	
		女子 都城工業（初優勝）			
H24	8	男子 都城工業（4年連続5回目）	出口弘耀	鳴海秀幸・中西典明	
		女子 都城工業（2年連続2回目）			
H25	9	男子 都城工業（5年連続6回目）	梶原英明	鳴海秀幸・中西典明	
		女子 都城工業（3年連続3回目）			
H26	10	男子 都城工業（6年連続7回目）	鳴海洸槻	鳴海秀幸・黒木良一	
		女子			
H27	11	男子 都城工業（7年連続8回目）	池田勇人	鳴海秀幸・黒木良一	
		女子 延岡工業（初優勝）	直野明夏	西川和弘・甲斐貴満	
H28	12	男子 都城工業（8年連続9回目）		鳴海秀幸・黒木良一	
		女子 延岡工業（2年連続2回目）		西川和弘・甲斐貴満	
H29	13	男子 都城工業（9年連続10回目）		鳴海秀幸・黒木良一	
		女子 延岡工業（3年連続3回目）		西川和弘・甲斐貴満	
H30	14	男子 都城（初優勝）		小玉将臣・福山隆司	
		女子 都城（初優勝）			
R1	15	男子 都城（2年連続2回目）		小玉将臣・福山隆司	
		女子 都城（2年連続2回目）			
R2	16	男子 都城（3年連続3回目）	永田一世	小玉将臣・福山隆司	
		女子 都城（3年連続3回目）			
R3	17	男子 都城（4年連続4回目）	水久保快旺	小玉将臣・福山隆司	
		女子 都城（4年連続4回目）			
R4	18	男子 都城（5年連続5回目）	多田虎之介	小玉将臣・福山隆司	
		女子 都城（5年連続5回目）			
R5	19	男子 都城（6年連続6回目）	小玉侍男	小玉将臣・福山隆司	
		女子 都城工業（10年ぶり4回目）	平澤史香	池田隼人・甲斐貴満・萱嶋竹夫	
R6	20				

栄光の記録 【単独演武】

年度	回	男子 優勝者		女子 優勝者	
		規定の部	自由の部	規定の部	自由の部
H17	1				
H18	2				
H19	3	—	盛満昭彦 (都城泉ヶ丘)	—	黒原 栞 (都城工業)
H20	4	—	田中雄己 (都城工業)	—	土井 咲 (都城泉ヶ丘)
H21	5	中田泰貴 (延岡工業)	森山 司 (都城工業)	松岡恵実 (都城工業)	吉田菜奈美 (都城泉ヶ丘)
H22	6	南崎優希 (都城工業)	新名正典 (延岡工業)	松岡恵実 (都城工業)	吉田菜奈美 (都城泉ヶ丘)
H23	7	八木隼人 (都城工業)	鳴海洸成 (鵬翔) 全国選抜大会 6 位	—	—
H24	8	浜崎 天 (都城工業)	山本雄太 (延岡)	豊満里菜 (都城工業)	—
H25	9	田上俊輝 (都城工業)	増満洸太 (都城工業)	—	吉田智佳 (都城工業)
H26	10	福永壮珂咲 (都城工業)	成松憲都 (都城工業)	—	—
H27	11	山岡翔太 (延岡工業)	多田翔一朗 (都城工業) 全国選抜大会 6 位	甲斐鈴華 (延岡工業) 全国選抜大会 5 位	—
H28	12	野中一樹 (都城工業)	折田陸杜 (都城)	横井百華 (延岡工業)	海老原紫月 (都城)
H29	13	柳田朔哉 (延岡工業) 全国選抜大会 7 位 九州選抜大会優勝	加藤誠人 (高城)	姫田真花 (延岡工業) 九州選抜大会 4 位	立元日香里 (都城西) 九州選抜大会 3 位
H30	14	久保田健治 (都城工業) 九州選抜大会優勝	川崎空人 (都城) 全国選抜大会 8 位 九州選抜大会 2 位	—	立元日香里 (都城西)
R1	15	—	川崎空人 (都城) 九州選抜大会優勝	—	尾谷未来 (都城) 九州選抜大会 3 位
R2	16	栗山志温 (都城) 九州選抜大会 2 位	海老原翔太 (都城)	山崎花姫 (都城) 全国選抜大会 8 位 九州選抜大会 2 位	—
R3	17	田村吏稀 (都城工業) 九州選抜大会 2 位	海老原翔太 (都城)	—	—
R4	18	栗山優清 (都城) 全国選抜大会 3 位 九州選抜大会優勝	金井想和 (延岡工業)	平澤史香 (都城工業) 九州選抜大会 7 位	豊丸葵衣 (都城) 九州選抜大会 8 位
R5	19	園田詩祈 (都城工業) 九州選抜大会 3 位	金井想和 (延岡工業) 九州選抜大会 5 位	馬崎夏嬉 (延岡工業) 九州選抜大会 4 位	平澤史香 (都城工業)
R6	20				

栄光の記録 【組演武】

年度	回	男子 優勝者		女子 優勝者	
		規定の部	自由の部	規定の部	自由の部
H17	1				
H18	2				
H19	3	—	束田・長田 (都城工業)	—	上岡・堂園(都城泉ヶ丘)
H20	4	—	束田・長田 (都城工業)	—	正ヶ峰・堂園(都城泉ヶ丘)
H21	5	吉田・吉本 (都城工業)	森・山本 (延岡工業)	—	正ヶ峰・田村(都城泉ヶ丘)
H22	6	前田・吉本 (都城工業)	今村・岡田(都城泉ヶ丘)	榎木・渡辺(都城泉ヶ丘)	—
H23	7	川崎・川路 (都城工業)	岩崎・出口 (都城工業)	—	原澤・馬越 (都城工業)
H24	8	川崎・川路 (都城工業)	岩崎・出口 (都城工業)	梅野・原澤 (都城工業)	—
H25	9	中村・町田 (都城工業)	久保田・鳴海(都城工業)	柴田・高塚 (延岡工業)	—
H26	10	前田・奥田 (都城工業)	久保田・鳴海(都城工業) 全国選抜大会 5 位	—	—
H27	11	中武・中武 (延岡工業)	池田・脇屋 (都城工業)	—	—
H28	12	木宮・廣瀬 (延岡工業)	安藤・田尻 (都城工業)	銀島・松田 (延岡工業)	甲斐・日高 (延岡工業)
H29	13	瀬戸口・廣底(都城工業) 九州選抜大会優勝	安藤・村社 (都城工業) 九州選抜大会優勝	徳重・長谷場(都城工業) 九州選抜大会準優勝	銀島・松田 (延岡工業) 全国選抜大会 7 位 九州選抜大会優勝
H30	14	中西・平野 (都城)	渋谷・前田 (都城)	伊藤・片伯部(延岡工業)	小玉・渋谷 (都城)
R1	15	田中・築地 (都城工業) 九州選抜大会優勝	渋谷・前田 (都城) 九州選抜大会優勝	—	小玉・渋谷 (都城) 九州選抜大会優勝
R2	16	堂領・内村 全国選抜大会 7 位 九州選抜大会優勝	田中・築地 (都城工業) 全国選抜大会 7 位 九州選抜大会優勝	—	中丸・小玉 (都城) 九州選抜大会 2 位
R3	17	—	水久保・多田 (都城) 九州選抜大会 3 位	豊丸・平野 (都城) 九州選抜大会 2 位	田中・小玉(智) (都城) 九州選抜大会 2 位
R4	18	吉川・千代森 (都城) 全国選抜大会 1 2 位 九州選抜大会 2 位	小玉(凌)・小玉(仁) (都城) 九州選抜大会 4 位	—	小玉・田中 (都城) 全国選抜大会 1 0 位 九州選抜大会 2 位
R5	19	竹町・瀬尾 (都城工業) 全国選抜大会優勝 九州選抜大会優勝	小玉(侍)・小玉(仁) (都城) 全国選抜大会 8 位 九州選抜大会優勝	椎屋・野中(都城工業) 全国選抜大会 7 位 九州選抜大会優勝	岩崎・岩元 (都城) 九州選抜大会優勝
R6	20				

栄光の記録 【団体演武】

年度	回	男子優勝校	女子優勝校	備考
H17	1			
H18	2			
H19	3	—	—	
H20	4	—	—	
H21	5	都城工業	—	
H22	6	都城工業	—	
H23	7	都城工業	—	
H24	8	都城工業	—	
H25	9	都城工業	—	
H26	10	都城工業 全国選抜大会 4 位	—	
H27	11	都城工業	—	
H28	12	—	延岡工業	
H29	13	都城工業 全国選抜大会 6 位 九州選抜大会優勝	延岡工業 全国選抜大会 4 位 九州選抜大会優勝	
H30	14	都城工業 全国選抜大会優勝 九州選抜大会優勝	都城	
R1	15	都城 九州新人大会優勝	都城 九州選抜大会優勝	
R2	16	都城 全国選抜大会 7 位 九州選抜大会優勝	—	
R3	17	—	都城 九州選抜大会優勝	
R4	18	都城 全国選抜大会 7 位 九州選抜大会 2 位	都城 全国選抜大会 6 位 九州選抜大会優勝	
R5	19	都城 全国選抜大会 2 位 九州選抜大会優勝	—	
R6	20			



シンボルマークの意味

シンボルマーク中央の図形は ○ (円) を 2 つ重ねて図案化した双円 (ソーエン) で、一方は慈悲と愛、一方は理性や力、重なることで「調和」を意味しています。まわりの盾は、真理・正法・正義を護ることを意味し、また、中の 4 つの点は、東洋の思想にある天・地、陰・陽を表現しています。

シンボルマークの願い

少林寺拳法では、これらが調和、統一された状態こそが、人間生活の考えや行動の中心であるべきとされ、これは少林寺拳法の「力愛不二 (慈悲心や正義感に溢れていても、力がなければ、誰かの役に立ったり、助けたりすることはできない。また、どれだけ力があっても、誇りや信念がなければ、正しい力の使い方はできない)」の精神にほかなりません。